

# 北海道新幹線の「冬期性能検証」について

平成27年2月12日  
北海道旅客鉄道株式会社

弊社では現在、鉄道・運輸機構のご協力をいただきながら、総合監査・検査に引き続き、1月30日から3月1日までの予定で、H5系新幹線車両を使用した冬期の走行試験を、「冬期性能検証」の一環として、新函館北斗～木古内～奥津軽いまべつ間で実施しています。

北海道新幹線は、東北新幹線と比較して気温・積雪や雪質・青函トンネル内外の温度差や湿度差、という環境面での違いがあるため、北海道の冬期間の気象条件の下で新幹線車両や地上設備がその性能を発揮できることを検証する「冬期性能検証」を開業までの2冬期に渡り実施してまいります。

## 「冬期性能検証」の主な確認項目



### ○ブレーキ性能確認

最高速度からブレーキをかけ、低温や降雪時の環境においても、滑走制御が機能するか、また制動距離が計画通りかの確認を行う。



### ○車両着雪状況確認

降雪、積雪の環境下で走行した際、車両の床下、特に複雑な形状の台車付近にどのようにどのくらい着雪するかを確認する。またその影響について把握する。



### ○冬期対策地上設備確認

共用走行区間の三線式ポイントに設置した、エアジェット式ポイント除雪装置やスノーシェルターを始め、北海道新幹線での特徴のある冬期対策設備の機能を確認する。

上記の他、架線からパンタグラフによる集電性能の確認、青函トンネル前後での車両機器箱内の結露状況の確認、低温下での地上設備や車両設備の動作状況の確認、などを行ってまいります。